

指定校番号	30016	<input type="radio"/> 学級活動	<input type="checkbox"/> 児童会活動	<input type="checkbox"/> クラブ活動	<input type="checkbox"/> 学校行事
-------	-------	----------------------------	--------------------------------	--------------------------------	-------------------------------

平成30年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	三原市立田野浦小学校	校長	神田 秀浩	生徒指導主事	東 英治
-----	------------	----	-------	--------	------

取組事例名 『異学年交流』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	1	「主体性・積極性」	2	「自己存在感の育成」	3

取組のねらい『キーワード 人と関わる喜びを育む異学年交流』

異学年交流での活動を通して、児童同士のつながりを深め、望ましい共感的な人間関係を育成する。高学年にはリーダーとして自覚を持たせ、低学年には、協力し合おうとする態度を育成する。

取組の具体的内容『キーワード 異学年の交流活動』

【6年生と1年生】

「清掃活動」

- ・年間を通して6年生は1年生教室へ、1年生も6年生教室へ行き、一緒に掃除をすることで、6年生には責任感を持たせ、1年生は掃除の仕方を学ばせている。

「レクリエーション・本の読み語り」

- ・お互いに自己紹介をし、ふれ合いながら1年生が学校生活に慣れるように取り組んだ。



「6年生を送る会」(3月実施予定)

- ・お世話になった6年生に、感謝の気持ちをこめてプレゼントを作成し、渡す。また、歌を言葉で6年生に気持ちを伝える。

【5年生と3年生】

「集団づくり」

- ・「ボール渡し」「魔法のじゅうたん」等の活動を通して目標を達成させるために、思いやりの言葉をかけ合わせることで、共感的な人間関係を育成した。



【4年生と2年生】

「かべ新聞やリーフレットの紹介」

- ・国語科で学習したことを生かし、4年生は、全学年に発表し紹介した。



【2年生と1年生】

「おもちゃ祭り」

- ・2年生が生活科の学習で作った「おもちゃ」の使い方などを1年生に分かるように説明し、1年生が楽しむ活動になるように計画し準備した。



2年生児童は、1年生の感想や笑顔から達成感を味わうことができた。

取組の課題・創意工夫『キーワード 共感的人間関係の育成』

- ・上学年が主体となって交流する場では、下学年児童に分かりやすく説明することを心掛け準備した。
- ・事前に学年間で連携し、活動後の振り返りに関して肯定的な評価を意識させ、リーダーとしての自覚や自信を持たせるようにした。

取組の成果（効果）『キーワード 関わりの中で育つ』

- ・高学年はリーダーとしての意識が高まり、責任感を感じるようになった。また、下学年児童への声かけや関わり等が日常の生活の中で増えてきた。
- ・下学年の児童は、リーダーのことを慕い、積極的に関わろうとする様子が多く見られるようになった。

今後の展開『キーワード 異学年交流の継続』

- ・6年生は年度当初、1年生に掃除の仕方を伝え、3学期も、低学年の自立に向けて清掃活動に取り組んでいる。今後は、来年度に向けて年間を見通して、異学年交流を計画していく。
- ・児童の自己存在感や自己有用感の育成に向け、効果的な活動を仕組む。

他教科との関わり『キーワード 各教科の学びと関連付ける』

- ・各教科等で身に付けた資質や能力を、特別活動の実践に生かしていく。
- ・他者との会話、交流などを通して自己の考えを発展させていく。